



公益財団法人日本YWCA

# 2020年度事業報告

事業年度: 自)2020年4月1日 至)2021年3月31日

# 公益財団法人日本YWCA 2020年度事業報告

事業年度: 自)2020年4月1日 至)2021年3月31日

今年度は、2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大により、企画・実施を予定していたプログラムの中止や、大幅なオンラインへ移行しての実施を余儀なくされた。そのような状況のもと、「今できる形で」実施するための工夫や検討を重ねて、以下の事業を実施した。

## 1. 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業 (公益目的事業1)

「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIVとAIDS」「性と生殖/健康」など女性と子どもに関わる地球規模のグローバルな課題をこ事に若い世代の人たちに普及啓発することを目的に、若い女性を対象とした以下のリーダーシップ養成プログラムを実施した。これまで大切にしてきた、課題の現場への訪問を重視したフィールドワークの実施はかなわなかったが、オンラインを活用することで国や地域の垣根を越えて国際社会に貢献する次世代の人材養成を行うことができた。

### ■ひろしまを考える旅

「ひろしまを考える旅」は、核兵器による惨事を二度と繰り返さないために、平和の大切さを学び、平和な世界を実現したいと願い、広島で実施する2泊3日(オプションツアー参加の場合は3泊4日)のプログラム。1971年に始まり、2021年には50周年を迎える。COVID-19の影響で「対面でのプログラム」の実施ができなかった2020年度は、オンラインで「原民喜研究家 竹原陽子さんと読む『夏の花』」、竹原さんの言葉で「民喜の足跡」を聴き、原爆が落とされたあの日の広島に思いをはせた。また、2020年8月6日に「ひろしまを考える旅 50周年記念サイト」(<https://ywca-japan.wixsite.com/hiroshima50th>)を開設し、オンラインキャンペーンを実施した。2021年8月にむけて、オンラインを活用し、広島と長崎の被爆の実相と日本の加害の歴史を考え、さまざまな視点から互いに「ひろしま」「ながさき」を伝えあう「旅」を実施する。

### ■日韓ユース・カンファレンス

日韓ユース・カンファレンスは、日本と韓国の30歳以下のユースが寝食を共にしながら、日本・韓国に共通するさまざまな問題について共に学び、対話・交流する、草の根の国際交流プログラムである。1993年以来、韓国・日本を毎年交互に会場として開催し、平和を創造するユースのリーダーシップ養成に貢献してきた。プログラムの企画・運営は、30歳以下のユースを中心とした実行委員会が担う。



2020年度は、昨年のプログラムで提案されたアクションを実行する日本YWCA独自の取り組みとして「オンラ

インフェミニズム運動」を展開した。若者を対象とした4回の「おしゃべり会」では、「なんかおかしいよね」という気付きを大事に、低用量ピル・家事労働・LGBTIQ と労働・信仰とジェンダー/セクシュアリティといった身近なテーマを、同世代の視点で一緒に考える場を設けた。SNS 上のキャンペーンでは、本や映画の紹介や、世界YWCA の資料からフェミニズムに関する用語の解説、一人ひとりがジェンダーに関わる生きづらさを発信する参加型キャンペーンを行った。

## 2. 青少年の健全な心身育成に資する事業（公益目的事業1）

毎夏、豊かな出会いの中で思いやりと生きる力を育み、平和な未来を創り出す人材を養成することを目的に、中学生や高校生を対象に以下のカンファレンスを実施してきた。新型コロナウイルス感染症の流行により、プログラムの中止が相次ぐ中、有志によって「web カンファレンス 西の方」を実施した。

### ■中高YWCA「webカンファレンス西の方」開催

日時：2020年8月7日(金)14:00-16:00

参加者：(関西地区・西南地区より)生徒63名 教員他22名 合計85名

オンライン会議独特の不便さやハプニングも楽しみながら出会う時間をもった。ユースのボランティアがファシリテートするグループワークでは「パートナーシップってなに?」「心地の良い関係ってどういうこと?」など、普段の生活の中で感じているが言葉にできないことを、お互い言葉にしていく時間を持った。

### ■中高YWCA 顧問総会・研修会

日本YWCAに加盟する学校YWCAの顧問を対象とする研修と、1年間の活動報告と活動計画について協議する顧問総会を毎年実施している。2020年度はオンラインで行った。

#### <中高YWCA 研修会>

日時：2021年3月26日(金)10:00-12:00

出席：23名(顧問14校より17名、講師1名・日本YWCA運営委員3名・担当幹事2名)

プログラム：

開会礼拝、研修—講演「自立援助ホーム カルーナから見える現代社会」講師 山本知恵(京都YWCA総幹事)、顧問総会、交流会、閉会礼拝

#### <中高YWCA 顧問総会>

日時：2021年3月26日(金)13:00~14:05

出席：14校16名 委任：16校 欠席：7校 陪席：5名

主な議事：2020年度の活動報告、2022年度の全国カンファレンス準備の拡大委員会結成について、2021年度中高YWCA委員について、2021年度顧問総会・研修会の日程

### 3. 国連機関および国内外のNGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通して行うアドボカシー(政策提言等)事業 (公益目的事業 1)

国連の諮問機関でもある世界YWCAとの連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために政策提言を行った。平和・人権・環境・教育・女性への暴力・HIV と AIDS・性と生殖/健康など、女性と子どもに関わる課題を取り上げたアドボカシー事業を実施し、真理を見極める人材を育成した。また、当法人の公益事業の周知と当法人に対する支援や協力の推進をはかるべく情報発信や広報、ファンドレイジングの促進を行った。それらを YWCA が発行する機関紙やウェブサイトでの情報配信を行った。

#### ■ワークショップ「考えよう！若者とネット社会～フェミニズムの視点から～」

実施日：2020 年 9 月 26 日(土)

主催：国立女性教育会館主催「男女共同参画推進フォーラム」(オンライン)

ユース世代にとって、インターネットは人と繋がる上で欠かせない、また大きな影響を受ける空間である。このワークショップでは、3人のユースが報告者として、インターネット社会におけるルッキズム(外見評価)が若い女性に及ぼす心理的負担や新自由主義的な動きとの関連について、当事者の経験・視点から説明。また、性差別・性暴力のない安心安全なインターネット社会にするための4つの提言を述べた。

#### ■第 65 回国連女性の地位委員会(Commission on the Status of Women, 略称. CSW)

毎年 3 月に米国・ニューヨーク国連本部で開催される国連女性の地位委員会(UN Commission on the Status of Women: CSW)。日本 YWCA は 2020 年 10 月、第 65 回 CSW への文書提出を初めて行い、各国政府や国連に対する要望を表明した。提出文書の主な要望は、以下の通り。

- 若い女性、特に周縁化された若い女性が意思決定に参加すること。
- 原発や軍事基地、新型コロナウイルスの影響を女性が特に強く受けることを踏まえ、それらの問題に関する決定に女性、特に若い女性や少女の声を反映すること。
- 意思決定機関における女性の割合が低い背景となっている「アンコンシャス・バイアス」(無意識のバイアス)の解消に取り組むこと

#### ■CSW65 パラレルイベント「北京+25 に関する若い女性たちの取り組み：日本の経験から」

実施日：2021 年 3 月 26 日(金)

オンライン開催となった CSW65 に合わせ、日本 YWCA は NGO パラレルイベント「Young women's Beijing+25 initiatives: experiences in Japan(北京+25 に関する若い女性たちの取り組み：日本の経験から)」を実施。日本の YWCA で活動する若い女性たちが、ジェンダーに基づく暴力に対するアドボカシー活動や中高生を対象とした人権トレーニングなどの取り組みを紹介し、また北京行動綱領の 12 の重大問題領域に含まれる「女性に対する暴力」「女性と武力紛争」「女性と経済」「女性とメディア」のテーマに関し、若い女性の視点から見た日本の文脈における課題について紹介し、ジェンダー平等の実現のために必要な行動・政策について世界各国からの参加者と意見交換を行った。

#### ■「第 5 次男女共同参画基本計画」に対するパブリックコメント提出

2020 年 10 月、「第 5 次男女共同参画基本計画」策定に向けた内閣府の呼びかけに対応してパブリックコメントを提出した。

- 個人と多様性の尊重、法の下での平等、暴力のない平和な社会を目指す上で、日本国憲法を踏まえた基本計画にすること

- 在日コリアン女性、外国にルーツのある女性、女性障がい者、トランスジェンダー女性を含むセクシュアル・マイノリティ女性、若い女性など、より困難な状況に置かれた女性への複合差別をなくすこと
- 男性片働きを前提とし世帯を一単位とする諸法制度・慣行を、個人単位に変えること
- 原子力関連施設の誘致・稼働・廃炉などに関して、女性の声が、検討・決定過程に十分に反映されること
- 北京宣言・行動綱領に沿って、平和構築、特に日本軍「慰安婦」問題の解決に向けて、日本政府が取り組む内容を具体的に記載すること
- 男女共同参画をめぐる国の意思決定に、一貫して若者、特に若い女性と少女の視点が含まれるようにすること

## ■「北京+25」記念イベント開催

実施日：2020年11月22日（日） オンライン

2020年11月に開催したオンラインイベント「北京女性会議・北京行動綱領採択から25年！ジェンダー平等に向けた Intergenerational Dialogue」では、UN Women（国連女性機関）日本事務所、内閣府男女共同参画局、UN Women が呼びかけたユースの国際チーム「Generation Equality Youth Task Force」、加えて全国のYWCAから多世代のスピーカーを迎え、25年を経ての社会の変化や現在も残るジェンダーの課題、「北京+25」の政策をめぐる国際協議へのユースの参画、第5次男女共同参画基本計画などについて報告・協議をした。同イベントはUN Women 日本事務所・内閣府男女共同参画局の後援を受け、147名の参加を得て開催。

## ■その他アドボカシー活動

- \* 機関紙「YWCA」の企画・編集・年6回発行
- \* 中高YWCA だより「わーいだよ！」年2回発行
- \* 「核」否定に関する情報をわかりやすく発信
- \* 「ヒバクシャ国際署名」を実施
- \* ウェブサイトでの情報を国内および世界に向けて随時発信
- \* 海外で報道されている日本の憲法等の情報を発信
- \* 全国アクション（日本YWCA Facebook キャンペーン、パブリックコメントや署名運動の呼びかけ、抗議Fax 送付）
- \* 高校生平和大使の世界YWCA 訪問にあたっての協力
- \* 政策提言を必要に応じて実施
- \* 衆議院憲法審査会傍聴よびかけと報告
- \* 民意を無視した政治の情報収集及び他団体協働の集会への賛同、国会前行動への参加
- \* 他団体の媒体への情報掲載や、イベント等へ出展

## <声明・要望書>

2020年

- 4月24日 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の特別定額給付金に関する要望書
  - \* 内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣宛
- 6月22日 #BlackLivesMatter に連帯し、人種主義の撤廃を求める声明
- 6月29日 イスラエルによる西岸地区併合計画に対する声明
  - \* 内閣総理大臣・外務大臣
- 8月7日 外国籍住民への再入国制限に関する要望書

- \* 内閣総理大臣・外務大臣・法務大臣  
 10月26日 核兵器禁止条約の発効要件達成に関する日本 YWCA 声明
- \* 内閣総理大臣・外務大臣・衆議院議長・参議院議長宛  
 11月15日 脱炭素化に賛同し、原子力発電以外の方法での達成を求める声明
- \* 内閣総理大臣・経済産業大臣・環境大臣・衆議院議長・参議院議長宛  
 2021年
- 2月5日 森喜朗東京五輪・パラリンピック組織委員会会長の女性蔑視発言に対する抗議声明  
 パラリンピック組織委員会会長・東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣宛
- 2月21日 ミャンマーにおける軍事クーデターに対する抗議声明  
 ミャンマー大使館・日本政府宛
- 3月5日 声明文「戦没者の遺骨を辺野古新基地建設に使用しないでください」  
 内閣総理大臣・防衛大臣宛
- 3月17日 出入国管理及び難民認定法の改定案の閣議決定に対する意見書  
 内閣総理大臣・法務大臣・衆議院議長・参議院議長宛

#### <賛同等>

- 2020年
- 5月11日 Joint statement from civil society to NPT  
 NPT 諸加盟国に対し、核兵器廃絶のためのより大胆な行動を速やかに取るよう求める、市民社会による共同声明)
- 7月1日 イスラエルによるヨルダン川西岸地区合併を阻止するための行動を取ることを要請します  
 (パレスチナ支援を行う日本の NGO 9 団体)
- 2021年
- 2月1日 「核兵器禁止条約発効の今、北東アジア非核兵器地帯の検討を求める」日本政府への要請書
- 2月11日 「新型コロナウイルスに関わる知的財産権保護免除の要請書」に賛同
- 3月5日 「入管法反対」緊急要請(外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連盟協議会より)  
 賛同
- 3月8日 国際女性デー ウィメンズマーチ東京 賛同

#### 4. 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業 (公益目的事業 1)

国内外で起こった地震・洪水・事故等の災害や紛争等で被災した女性や子どもたちの安全と安心を確保するために、支援物資や支援金の提供および現地のニーズにあった適切なプログラムを実施した。また、そのために必要なトレーニングされたボランティア等の人材を養成した。

##### ■東日本大震災被災者支援

2011年の東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故以来、により被災した女性や子どもたちを対象に、リフレッシュプログラム等中長期支援を行ってきた。COVID-19 が広がり、困難な状況の中でも「福

島の子どもたちを何とか招きたい」と実施のための検討を重ねたが、2020年度はほとんどの地域 YWCA と連携して計画していたプログラムを断念せざるを得なかった。

### \* 心と身体の保養の「リフレッシュプログラム」

地域 YWCA で行われたリフレッシュプログラム

・熊本 YWCA 福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ

日時:2021年3月26日(金)~30日(火)

場所:田舎の体験交流館 さんがうら(球磨郡球磨村)

対象:福島県と熊本県の小学1年生~6年生まで

計20名

(福島県7名・熊本県6名・2020年7月豪雨で被災した地域から7名)



・京都 YWCA オンライン同窓会

日時:2020年9月27日(日)

開催方法:オンライン

対象:過去(2011年度~2018年度)のリフレッシュプログラム参加者とその際のボランティア

### \* 被災者受け入れのための住宅支援「セカンドハウス」

2020年度は、COVID-19の流行が、利用者に大きな影響を与え、利用直前の感染状況によりキャンセルするという事態が続いた。日本YWCAでは、横浜・神戸・函館の3軒で、主として家族単位で被災者を受け入れてきた。福島はじめその近隣県の放射能被災下にある家族および単身女性に、日本YWCAは東日本大震災被災者支援募金より交通費の一部を補助して提供。それぞれの地域YWCAの協力を得て続けている。



・2020年度利用者数:2家族8名

### \* 福島市の女性や子どもたちの活動スペースとして、YWCA活動スペース「カーロふくしま」(福島県福島市矢剣町29-3)を運営

活動目的:

- ・地域の女性の暮らしを再生することを支援する。
- ・福島市周辺に住む女性を対象に、暮らし再建のため、自らの、また地域の抱える課題解決のために主体的に行動できる人材を養成する。
- ・活動に参加した女性たちが、その後地域に根差した新規活動を立ち上げ、被災地域の復興と活性化を図ることを支援する。
- ・全国の保養活動やセカンドハウスプログラムの拠点となる。



以上を目的として、2020年度も福島を拠点とする事業を企画するも、COVID-19の影響によって、予定してい

たワークショップは中止を余儀なくされ、カーロふくしまを会場に開催していた「おはなし会」企画はすべてオンラインに切り替えて実施した。このような状況下においても、コロナ禍の中だからこそ必要とされる支援を模索し、臨時休校が続く小中学生への学習支援「カーロでスタディ」を8月からスタートした。

- ・ カーロふくしまおはなし会(オンライン・5回開催)
- ・ カーロでスタディ(月2日各4回・計31回開催)
- ・ そのほか、パステルシャインアート教室、保養団体への会場提供など

### ■熊本豪雨災害災地支援

2020年7月3日未明から4日朝までに降り続いた豪雨で、熊本県南部地域では広範囲にわたる洪水被害や土砂災害、道路や鉄道への被害が起こった。熊本YWCAは災害直後から被災者支援活動に動き出し、日本YWCAは関係団体と連携し熊本YWCAをサポートする形で支援活動を行った。熊本YWCAは2016年4月の熊本地震に際しても多くの会員・ボランティアと共に被災者支援活動を行ったが、今回はCOVID-19の影響で、県外からボランティアに入ることが難しいという、これまでにない状況に阻まれた。

### ■国内外で起こった災害や紛争等の緊急・中長期支援

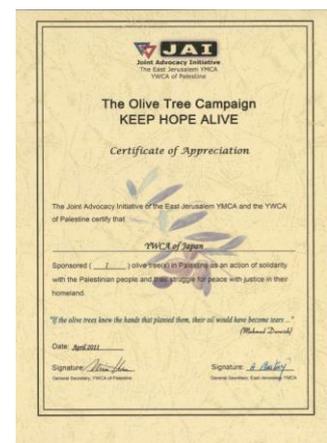
\*レバノンYWCA 2020年8月のベイルート爆発事件を受けた損害回復と被災者支援活動

\*バングラデシュYWCA COVID-11を受けた食料品・衛生品配布事業

\*ホンジュラスYWCA 2020年11月のハリケーン被災者支援として、家や職などを失った母親たち・若い女性たちへの緊急支援物資の配布、シェルターで発生している性暴力事件等に対応した性暴力反対キャンペーンなどの活動

\*パレスチナYWCAの活動支援およびオリーブの木キャンペーン

パレスチナYWCAが実施している「パレスチナの難民の子どもたちの学びと成長を支援するプログラム」や「女性の自立のための職業訓練」への支援およびパレスチナにオリーブの木を植林する「オリーブの木キャンペーン」に参加し、日本国内で支援を呼びかけた。



## 5. 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業(公益目的事業1)

国際規模の社会貢献活動を推進し、質を維持するために継続したリーダーシップトレーニングの実施が不可欠である。以下のボランティアによる全国規模の集会や会議等の社会貢献活動プログラムを日本YWCAに加盟する全国の地域YWCAおよび学校YWCAと、日本YWCAが加盟する世界YWCAに連なる各国YWCAとの協働により実施する。これらのプログラムに参加することによって、ボランティアのリーダーシップが発揮されるようになり、ボランティア・コーディネートを担い、社会状況を分析する力を養い、地域社会・国際社会の女性と子どものニーズに応えながら、主体的に事業の企画・推進を担う、国際的視野にたつ人材が育成される。

### ■社会貢献活動を推進するボランティアのリーダーシップ養成

国際的・社会的状況を把握・分析し、課題解決のために取り組むべき事業を担うために必要な力を養うためのプログラムおよび研修会

**\* 日本 YWCA の公益事業の企画会議(運営委員会)**

2020 年

4 月 24 日(土) 5 月 16 日(土) 6 月 13 日(土) 7 月 19 日(日) 8 月 23 日(日) 9 月 20 日(日)  
11 月 1 日(日) 11 月 15 日(日) 12 月 12 日(土)

2021 年

1 月 30 日(土)~31 日(日) 2 月 20 日(土) 3 月 27 日(土)

開催方法:すべてオンライン

**\* 全国規模の社会貢献事業の企画会議(加盟 YWCA 中央委員会)**

2020 年 5 月 23 日(土) 14:00~16:00 24 日(日)14:00~16:20 オンライン

**\* 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のリーダーシップ研修(地域YWCA会長会)**

2020 年 4 月 25 日(土) 11:00~12:00 参加 YWCA 釧路・弘前・東京・平塚・広島・呉・松山 YWCA

2020 年 4 月 25 日(土) 14:00~15:00 参加 YWCA 函館・仙台・福島・横浜・大阪・福岡・熊本・沖縄 YWCA

2020 年 4 月 26 日(日) 15:00~16:00 参加 YWCA 湘南・甲府・新潟・静岡・名古屋・京都・神戸 YWCA

開催方法:オンライン

**\* 全国規模の社会貢献事業の定期報告およびミッション・ビジョンの確認(全国会員総会)**

11 月 23 日(月・休) 9:30~15:15

オープンプログラム 11 月 22 日(日) 14:00~16:30

「北京女性会議・北京行動綱領採択から 25 年！ ジェンダー平等に向けた Intergenerational Dialogue」

**\* 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のユースのリーダーシップ研修**

**・ 全国コアユース・ギャザリング**

日程:2020 年 9 月 12 日(土)15:00~13 日(日)18:30

開催方法:オンライン

参加者数:19 名(参加者 11 名、企画チーム 5 名、リソースパーソン 3 名)

全国の YWCA で運営委員や役員として中心的に活躍するユースが集まり、「横のつながり」を通じて、共通する悩みへの解決策を模索する場として開催した。最終的にはユースだけではなく、さまざまな世代や背景をもつ人と協働して、社会変革を進めていくことを目指す。参加者は、それぞれの経験・知識・問題意識を出し合い、ユースがより積極的に YWCA 運動に参加し、その意見が活動に反映されていくための具体的な提案を構築した。

**・ 全国ユースギャザリング**

日程:2020 年 10 月 4 日(日)10:00~16:00

開催方法:オンライン

参加者数:32 名(参加者 21 名、実行委員 10 名、リソースパーソン 1 名)

当初、青森県弘前市での対面開催を予定するも、COVID-19 の影響により、オンラインに変更。地域拠点

とオンライン参加のハイブリッド形式で開催した。

プログラム: <講演>核燃料の危険性と弘前YWCAの反核運動の歴史、<講演をうけてグループディスカッション>テーマ①核のない世界、②新型コロナウイルス感染症流行下での課題、③多世代協働の課題

**\* 全国の地域のYWCAで実施する社会貢献事業の協働(LA: Local Action)**

YWCA 平和の守り人 協働: 札幌・函館・釧路 YWCA

「原発があって幸せですか」～見て つながって 創る私たちの未来～ 協働: 福島・新潟・静岡・仙台 YWCA

首都圏で知る・感じる・考える! ～沖縄のいま・福島のいま 協働: 横浜・湘南・平塚 YWCA

女性のリーダーシップ養成講座「イチからわかる政治入門セミナー」 協働: 横浜・静岡・湘南 YWCA

会員のパワーアップ計画第2弾 協働: 京都・大阪・神戸・名古屋 YWCA

生きるとは、平和とは 協働: 呉・広島 YWCA

自然エネルギーは無敵で安全! 協働: 松山・広島・呉 YWCA

**\* ボランティアと共に全国規模の社会貢献事業を推進するためのYWCAの職員研修**

**・ オンラインによる1年目～3年目職員研修**

実施日: 6月6日(土) 7月4日(土) 8月1日(土)

対象: 主として就職1年目～3年目の職員

参加者: 12名(名古屋2名、大阪4名、京都2名、神戸1名、福岡2名、熊本YWCA1名)

内容: 「YWCA」とは、キリスト教基盤であるYWCAで働くとは、対人援助者としての職員の働き

**・ オンラインによる4年目以上の幹事研修**

実施日: 8月27日(木) 9月3日(木) 9月10日(木) 9月17日(木) 9月24日(木) 10月1日(木)

対象: 就職4年目以降の幹事

参加者: 10名(東京1名、横浜1名、名古屋2名、神戸1名、京都1名、大阪2名、日本YWCA2名)

内容: 自分の仕事の紹介と課題のプレゼンテーション、キリスト教基盤のYWCAで働くとは、幹事に求められるスキルとは、自分自身の仕事の棚卸し、3年後・5年後のキャリアデザイン、そのための研修計画作り

**・ 全国幹事会「オンライン分科会」**

日程: 2021年1月26日(火)

参加者: 26名(函館1名、東京3名、横浜1名、名古屋3名、京都3名、大阪5名、神戸4名、福岡1名、日本YWCA5名)

内容: 課題共有①プログラムの参加費徴収のための「Peatix」の活用について ②Zoomの活用について～オンライン授業の現場から、グループディスカッション、共有、閉会

## 6. 土地建物の貸与および共有事業 (収益目的事業 1)

当法人の公益目的事業の実施に必要な資金を補うことを目的として、法人が所有する東京都千代田区九段南 4-8-8 の土地と建物を貸与している。公益目的事業に安定した資金供給のために、建物を良好な状態で維持管理するべく、日常の営繕を実施した。

以上

